

マスクをし続けていたら顔に湿疹や吹き出物ができました
マスクによる皮膚障害かもしれません
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

マスクによる皮膚障害



感染症拡大を防ぐため、マスクの着用が勧められているものの、長時間マスクを着用している人の中から、湿疹、吹き出物といった肌荒れを起しているという声も聞かれるようになってきました。この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮

膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。「マスクによる肌荒れに気づいて教えてください。肌を当てる部分で擦れて炎症を起こします。また、マスク内が呼気で蒸れて開いた毛穴に古い角質などが詰まって、にきびや吹き出物ができやすくなったり、額にも汗と皮脂の分泌過剰と思われる白にきびができることもあります」

「かぶれは抗炎症の外用药を、症状によってはステロイド外用薬を処方します。にきびは毛穴の詰まりを取る外用剤や抗菌作用がある外用剤を組み合わせ治療します。マスクを着けることによって皮脂分泌量のバランスが崩れ、脂漏性皮膚炎が悪化したり、肝斑が摩擦で悪化するなど、以前からあった症状が進む場合がありますので、まずは皮膚科で相談してください」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
TEL 042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2020年10月23日付 「リビング多摩」に掲載されました